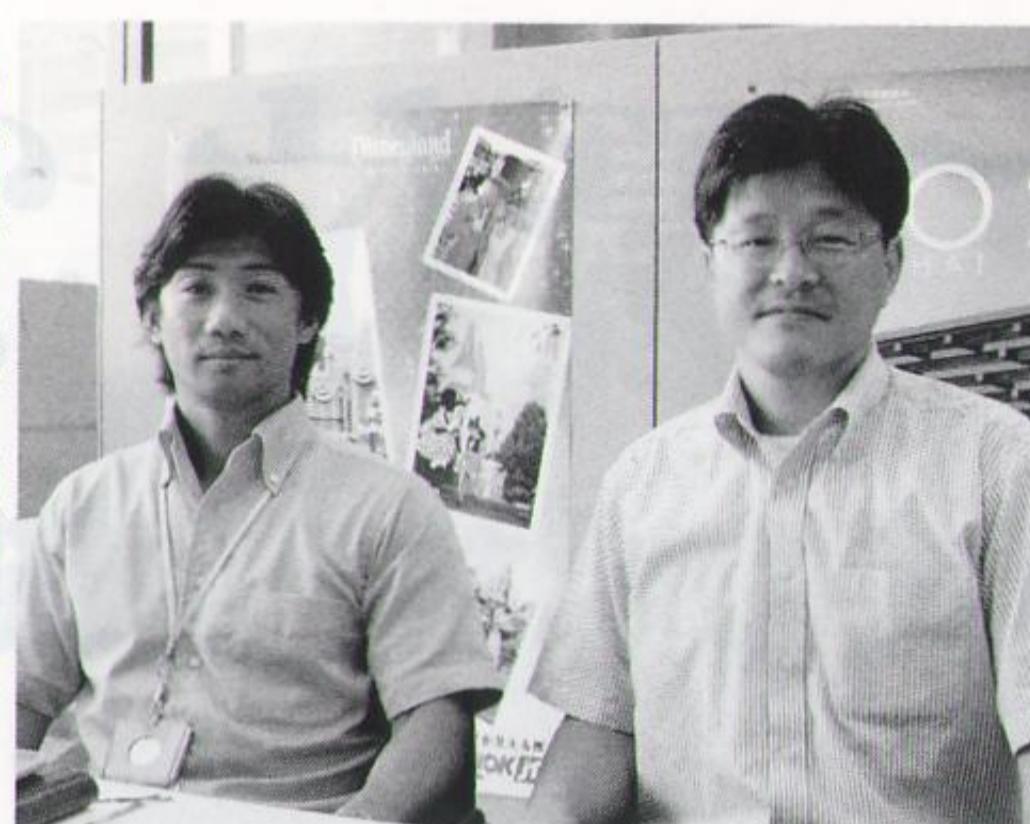


安心のサポート体制

ISC留学net

年間1000人の留学を目指す!

ゲートウェイ21、ジオス、直近ではサクシオ。これらは学生に語学研修や海外留学を斡旋していた大手業者だが、三者共に多大な負債を抱えて破綻。預けた授業料や渡航費が返還されず、海外留学の夢まで破綻させた。華やかな事業の一方、社会的被害が蔓延する今、地域密着の塾が安全で確実な留学を実現しようと動き出した。



規之社長（右）と田代剛社長

夢の海外留学をより身近に 全国の私塾と提携し若者を後押し

提携校は世界に二十五校

A-2

学習塾の和田塾が運営するISC留学net（本部…浜松市中区佐鳴台）が構築したシステムは、大都市圏を除く全国の学習塾と連携し、各塾が窓口となつてその地域の留学希望者を募集。これまで三百人以上の留学生を世界に送り出しているISC留学netのノウハウを生かし、より安価で安心な海外留学の後押しをしようというもの。

パートナーとなる学習塾は五十校程度の教室を持つ中堅規模の塾が対象で、ロイヤリティなどは取らず、僅かな加盟金と成功報酬による、ゆるやかな提携によって無駄なコストがかからないようにしているのが特徴だ。

昨今、問題が顕在化している大手業者の破綻は、留学を希望する子供や家族が払い込んだお金が企業の運転資金に充てられ、破綻した途端、返金もなければ留学もできなくなる…とリスクは過大。

ISCでは、こうしたリス

ことなく海外の提携校にそのまま払い込むという。

社長の大場規之氏は「大手

業者は広告宣伝に莫大な費用を投じ、また海外に直営の営業所を置いて多くの人を雇うことでの経費が膨れ上がる。この穴埋めに預り金が運転資金に回るケースがあり、多大なリスクとなる。私たちは、留学する学生のご家族が希望するなら、直接、海外の提携校にお振り込みいただいても結構です」と話す。

負担軽い留学費用

大場社長自身、大手企業時代の海外勤務経験も豊富な上役員など、政治的、経済的視野に明るいのも心強い。

今回の全国ネットのシステ

ムも、建設会社時代に構築した情報ネットワークをベースに、独自の視点で編み出した秀逸なシステムだ。

現在、海外で提携している学校はアメリカ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、中国他に二十五校。海外には営業所を置かず、駐在員との提携で、学生の現地サポートを行う。こうした経費圧縮によって、留学にかかる費用も大手業者に比べれば安価だ。

例えば、大学生の場合、一年で百七十万円、中・高校生でも二百五十万円ほど。ここには入学金から授業料、渡航費、滞在費、保険まで含まれている。大学生への一年間の仕送りを考えれば、負担はかなり低いことが理解できる。

「最近は、留学生が減少傾向にある。動かない、活動しない若者が増える中、少しでもたくましく世界を見てこよいうという若者が増えるように留学のハードルを下げたいのです」と大場社長は語る。

こうした考えを理解して、少子化する中で塾経営に新たな活路を見出す商材として加盟した塾は、現在、全国で十三拠点。年内には三十拠点となり、将来的には留学の情報が乏しい地方都市を中心に百拠点、年間一千人の留学生を世界に羽ばたかせたいと目標は大きい。

なお、留学、ISC留学netに関するお問い合わせは株和田塾本部 ☎ 053-449-6661、ホームページは <http://iscnet.jp> 東海トラベル ☎ 053-456-3550 まで。

ラベル（浜松市中区東伊場、田代剛社長）がこのISCと一緒に、留学生を募集する。

田代社長は「当社の文化共

生事業部では、娯楽型の観光旅行に文化や教育的エッセンスを盛り込んだ“心の旅”といいます。が、今回のこの留学の企画を企業向けに提案して

います。が、今回のこの留学の企画を企業向けに提案して

います。が、今回のこの留学の企画を企業向けに提案して